

『論語』とは、孔子と彼の高弟の言行を孔子の死後、弟子達が記録した書物のこと。

『論語』は古来儒学の聖典として尊重されており、江戸幕府は学問の中心を儒教としたため、会津藩校「日新館」においても『論語』が教材に用いられており、以来会津では、精神の支柱となっております。

論語講座

吾 十有五にして学に志し、三十にして立つ。四十にして惑れず、五十にして天命を知る。六十にして耳順い、七十にして心の欲するところを従にして、矩を踰えず。

- 日 時**：平成26年6月28日(土)午後1時～
- 場 所**：会津藩校 日新館
- 講 師**：図書館情報大学名誉教授 和泉新先生
- 内 容**：論語の解説と素読
- 定 員**：50名(申込み先着順)
- 参 加 料**：500円



主 催：「論語」の素読による地域活性化事業実行委員会
後 援：福島県・財団法人 東方學會
連絡先：磐梯山慧日寺資料館
TEL 0242-73-3000 FAX 0242-73-3480